

令和7年度

授業概要

Syllabus

作業療法学科

土佐リハビリテーションカレッジ

作業療法学科教育課程表

区分	教育内容	授 業				単 位 数				卒業要件 単位	指定規則
		科 目 名	実務	形式	種類	1年	2年	3年	4年		
基礎分野	科学的思考と基礎 人間と生活 社会の理解	人間科学概論		講義	必修	2				17	14
		社会福祉学概論		講義	必修		2				
		日本語表現法		講義	必修	2					
		保健用語		講義	必修	2					
		基礎英語		講義	必修	2					
		医学英語		講義	必修		2				
		医療統計学		講義	必修	2					
		情報処理入門		演習	必修	1					
		医療コミュニケーション論		演習	必修	1					
保健体育		実技	必修	1							
小 計					13	4	0	0			
専門基礎分野	人体の構造と機能 及び心身の発達	人体の構造機能入門		講義	必修	1				24	12
		人体の構造 I		講義	必修	3					
		人体の構造 II		講義	必修	3					
		人体の機能 I		講義	必修	3					
		人体の機能 II		講義	必修	3					
		人体の構造機能演習		演習	必修	1					
		脳科学概論		講義	必修	2					
		人間発達学		講義	必修	2					
		運動学 I		講義	必修	2					
		運動学 II		講義	必修		2				
		運動学実習		実習	必修	1					
		体表解剖学		実習	必修		1				
	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	病理学	疾病と	講義	必修	2				22	14
		病理学演習		演習	必修	1					
		内科学		講義	必修		2				
		整形外科学		講義	必修		2				
		精神医学		講義	必修		2				
		小児科学		講義	必修		2				
		神経内科学		講義	必修		2				
		臨床心理学		講義	必修		2				
		作業療法神経学		講義	必修	2					
		整形外科学演習		演習	必修		1				
		神経内科学演習		演習	必修		1				
		精神医学演習		演習	必修		1				
栄養と薬剤		講義	必修			1					
災害と救急救命		講義	必修			1					
保健医療福祉と リハビリテーションの理念	リハビリテーション概論		講義	必修	2				6	4	
	リハビリテーション医学		講義	必修	2						
	医療倫理学		講義	必修	1						
	理学療法概論		講義	必修			1				
小 計					31	18	3	0	52	30	

区分	教育内容	授 業				単 位 数				卒業要件 単位数	指定規則
		科 目 名	実務	形式	種類	1年	2年	3年	4年		
専 門 分 野	基礎作業療法学	作業療法概論	○	講義	必修	1				13	5
		基礎作業学	○	講義	必修	1					
		基礎作業学実習	○	実習	必修		1				
		作業療法セミナーⅠ（作業療法導入）		演習	必修	1					
		作業療法セミナーⅡ（卒業研究計画）		演習	必修			1			
		作業療法セミナーⅢ（国家試験対策）		演習	必修				2		
		作業療法研究法		講義	必修			1			
	作業療法管理学	卒業研究		演習	必修				2	2	2
		臨床実習入門Ⅰ	○	講義	必修		1				
		臨床実習入門Ⅱ	○	講義	必修			2			
	作業療法評価学	作業療法部門管理論		講義	必修			1		6	5
		作業療法教育論		講義	必修			1			
		作業療法評価学Ⅰ（概論）	○	講義	必修	1					
		作業療法評価学Ⅱ（各論Ⅰ）	○	講義	必修		1				
		作業療法評価学Ⅲ（各論Ⅱ）	○	講義	必修		1				
		作業療法評価学Ⅳ（各論Ⅲ）	○	講義	必修		1				
	作業療法治療学	精神障害作業療法評価実習	○	実習	必修		1			22	19
		身体障害作業療法評価実習	○	実習	必修		1				
		身体障害作業療法学Ⅰ（脳血管障害）	○	講義	必修		1				
		身体障害作業療法学Ⅱ（高次脳機能障害）	○	講義	必修		1				
		身体障害作業療法学Ⅲ（神経筋疾患）	○	講義	必修			1			
		身体障害作業療法学Ⅳ（脊髄損傷）	○	講義	必修			1			
身体障害作業療法演習Ⅰ		○	演習	必修			1				
身体障害作業療法演習Ⅱ		○	演習	必修			1				
運動器障害作業療法学（整形疾患・脊髄損傷）			講義	必修		1					
義肢装具学			講義	必修			1				
内部障害作業療法学			講義	必修			1				
発達障害作業療法学Ⅰ（正常発達・評価）		○	講義	必修		1					
発達障害作業療法学Ⅱ（治療学）		○	講義	必修		1					
精神障害作業療法学Ⅰ（治療構造・統合失調症）		○	講義	必修		1					
精神障害作業療法学Ⅱ（疾患別治療法）		○	講義	必修			1				
日常生活活動学		○	講義	必修	1						
日常生活活動学演習Ⅰ		○	演習	必修		1					
日常生活活動学演習Ⅱ		○	演習	必修		1					
老年期障害作業療法学		○	講義	必修			1				
精神障害作業療法演習Ⅰ		○	演習	必修			1				
精神障害作業療法演習Ⅱ	○	演習	必修			1					
精神障害作業療法演習Ⅲ	○	演習	必修			1					
作業療法特論（トピックス）		講義	必修			1					
治療学セミナー		講義	必修			1					
地域作業療法学	地域作業療法学Ⅰ	○	講義	必修			1		4	4	
	地域作業療法学Ⅱ		講義	必修			1				
	職業前関連活動	○	講義	必修			1				
	地域生活環境論	○	講義	必修			1				
臨床実習	見学実習Ⅰ		実習	必修	1				25	22	
	見学実習Ⅱ		実習	必修			1				
	見学実習Ⅲ（訪問・通所リハ）		実習	必修				1			
	臨床評価実習		実習	必修		4					
	臨床総合実習Ⅰ		実習	必修			8				
	臨床総合実習Ⅱ		実習	必修				10			
小 計					6	19	32	15	72	57	
総 計					50	41	35	15	141	101	

令和7年度 授業時間割表（3学年）

前期時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1時限目 9:00 ～ 10:30	地域生活環境論 稲富・桂 203講義室	作業療法教育論 片岡 203講義室		作業療法セミナーⅡ 箭野 他 203講義室	身体障害作業療法学Ⅳ 桂 203講義室	
2時限目 10:40 ～ 12:10	作業療法研究法 箭野 他 203講義室	精神障害作業療法演習Ⅰ 畑田 203講義室	理学療法概論 岡部 他 203講義室	内部障害作業療法学 吉本 203講義室	地域作業療法学Ⅰ 桂 他 203講義室	
3時限目 13:20 ～ 14:50	治療学セミナー 非常勤講師 203講義室	災害と救急救命 淡野他 または 栄養と薬剤 大坪・長崎	義肢装具学 石井 203講義室	身体障害作業療法演習Ⅰ 片岡 104機能訓練室	精神障害作業療法学Ⅱ 畑田 203講義室	
4時限目 15:00 ～ 16:30	治療学セミナー 非常勤講師 203講義室	災害と救急救命 淡野他 または 栄養と薬剤 大坪・長崎	義肢装具学 石井 203講義室			
5時限目 16:40 ～ 18:10						

後期時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1時限目 9:00 ～ 10:30	臨床実習入門Ⅱ 稲富 203講義室	職業前関連活動 桂 203講義室	精神障害作業療法演習Ⅲ 畑田 203講義室	臨床実習入門Ⅱ 片岡 他 203講義室	地域作業療法学Ⅱ 稲富 203講義室	
2時限目 10:40 ～ 12:10	精神障害作業療法演習Ⅱ 畑田 203講義室	職業前関連活動 桂 203講義室	身体障害作業療法演習Ⅱ 箭野 203講義室・205レク室	臨床実習入門Ⅱ 片岡 他 203講義室	地域作業療法学Ⅱ 稲富 203講義室	
3時限目 13:20 ～ 14:50	臨床実習入門Ⅱ 箭野 203講義室	身体障害作業療法学Ⅲ 萩原 203講義室	作業療法特論 非常勤講師 203講義室	作業療法部門管理論 箭野 203講義室	老年期障害作業療法学 萩原 203講義室	
4時限目 15:00 ～ 16:30	臨床実習入門Ⅱ 箭野 203講義室	身体障害作業療法学Ⅲ 萩原 203講義室	作業療法特論 非常勤講師 203講義室		老年期障害作業療法学 萩原 203講義室	
5時限目 16:40 ～ 18:10						

（注1）時間割は原則的なものであり変更する場合があります。

（注2）内部障害作業療法学は9月に集中講義の予定があります。

令和7年度 授業時間割表（4学年）

前期時間割

4月7日（月）～5月11日（金）

症例報告会 他

5月12日（月）～7月19日（土）

臨床総合実習Ⅱ

症例報告会 他

見学実習Ⅲ

後期時間割

9月29日（月）～3月7日（土）

作業療法セミナーⅢ
卒業研究

3～4年生作業療法学科教育課程表 目次

専門基礎分野		頁	専門分野		頁
栄養と薬剤	・・・・	1	作業療法セミナーⅡ（卒業研究計画）	・・・・	4
災害と救急救命	・・・・	2	作業療法セミナーⅢ（国家試験対策）	・・・・	5
理学療法概論	・・・・	3	作業療法研究法	・・・・	6
			卒業研究	・・・・	7
			臨床実習入門Ⅱ	・・・・	8
			作業療法部門管理論	・・・・	9
			作業療法教育論	・・・・	10
			身体障害作業療法学Ⅲ（神経筋疾患）	・・・・	11
			身体障害作業療法学Ⅳ（脊髄損傷）	・・・・	12
			身体障害作業療法演習Ⅰ	・・・・	13
			身体障害作業療法演習Ⅱ	・・・・	14
			義肢装具学	・・・・	15
			内部障害作業療法学	・・・・	16
			精神障害作業療法学Ⅱ（疾患別治療法）	・・・・	17
			老年期障害作業療法学	・・・・	18
			精神障害作業療法演習Ⅰ	・・・・	19
			精神障害作業療法演習Ⅱ	・・・・	20
			精神障害作業療法演習Ⅲ	・・・・	21
			作業療法特論（トピックス）	・・・・	22
			治療学セミナー	・・・・	23
			地域作業療法学Ⅰ	・・・・	24
			地域作業療法学Ⅱ	・・・・	25
			職業前関連活動	・・・・	26
			地域生活環境論	・・・・	27
			見学実習Ⅱ	・・・・	28
			見学実習Ⅲ（訪問・通所リハ）	・・・・	29
			臨床総合実習Ⅰ	・・・・	30
			臨床総合実習Ⅱ	・・・・	31

專門基礎分野

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 栄養と薬剤	1	3	前期	15	大坪 豊寿 <非常勤講師> 田中整形外科病院 管理栄養士 長崎 大武 <非常勤講師> プラス薬局 薬剤師

授業概要

生体が発育・成長して生命を維持し、健全な生命活動を営むために体外から取り入れる物質（栄養素）が必要である。栄養学を学習し、対象者及び自己の健康観や食生活の改善に繋げる。医療現場においては多職種が共通の科学的基礎と共通言語が必要であり、疾病別食事療法・低栄養の早期発見・重症化の予防なども含めて理解を深める。講義は資料を利用しながら進めていきます。

リハビリテーションの対象となる患者はさまざまな疾患を持っており、複数の疾患の治療が平行して行われていることが多いと思われます。内科的治療の主となるのは薬剤による治療となります。薬剤には、疾患を治療する効果がある反面、さまざまな副作用も存在します。安全にリハビリテーションを進めるためには薬剤の使用状況とその副作用に関する知識が必要となります。この授業では幅広い疾患に対する薬剤に関する知識を整理することを目指します。

学習目標

1. 栄養の基礎となる栄養学及び疾病別の食事療法について理解できる。
2. 臨床におけるリハビリテーション栄養の意義について理解できる。
3. 薬物の基本的事項について理解する。
4. 対象疾患に対する薬物療法について理解する。
5. 薬物の副作用と有害事象について理解する。

授業計画

回	主 題
1	リハビリテーションにおける栄養の意義
2	栄養素の種類と役割
3	リハビリテーション栄養・運動時の栄養
4	疾病別食事療法
5	定期試験
6	薬理作用
7	運動器系疾患に対する薬物療法について
8	神経系疾患に対する薬物療法について
9	その他の疾患に対する薬物療法について
10	定期試験

履修の認定 出席状況と受講態度、定期試験

教科書 資料、プリント等の配布

- 参考書
1. PT・OT・STのためのリハビリテーション栄養（医歯薬出版株式会社）
 2. 専門基礎分野 栄養学 人体の構造と機能（医学書院）
 3. 生化学・栄養学（医歯薬出版株式会社）
 4. リハに役立つ治療薬の知識とリスク管理
 5. リハビリテーション**薬剤**
 6. **リハベーシック薬理学・臨床薬理学**

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必)災害と救急救命	1	3	前期	15	淡野 義長<非常勤講師> 長崎医療技術専門学校 作業療法士, 他

授業概要

災害を含めた緊急事態において、医療従事者である作業療法士にも、災害現場に応じた多様な役割が求められている。

そこで本授業では、日本における災害の現状と作業療法士としての支援の方法、災害から身を守る生活上の工夫や避難所での環境設定、また日本赤十字社の基礎講習を受講することで救急法についても理解を深める。

学習目標

1. 災害時の作業療法士の役割について理解する。
2. 防災の知識・実践方法および、被災者の生活上の工夫などを理解し、実践できる。
3. 傷病者の観察と一次救命処置を理解し実践できる。

授業計画

回	主 題
1	災害現場で求められる作業療法（淡野）
2	〃
3	〃
4	〃
5	防災の基礎知識と実践方法（畑田）
6	〃
7	救急救命の基礎知識と実践方法（日本赤十字社スタッフ）
8	〃
9	〃

履修の認定

レポート、実技習熟度、出席状況、授業態度等を総合的に勘案し、認定する。

教科書

1. 配布テキスト

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 理学療法概論	1	3	前期	15	(教育学修士) 岡部 孝生<本校講師> 理学療法士 他

授業概要

理学療法に関する基本的事項を学習した上で、作業療法士として知っておくと役立つ理学療法の臨床的側面を紹介する。できる限り最新的话题を提供したいと考えている。

学習目標

1. 理学療法の枠組みを説明できる。
2. 理学療法を学ぶことで作業療法の特徴を対比できる。

授業計画

回	主 題
1	イントロダクション 理学療法とは 井上佳和
2	運 動 療 法 奥田教宏
3	小児の理学療法 川村博文
4	物 理 療 法 岡部孝生
5	A D L ト レ ー ニ ン グ 近藤 寛
6	装 具 療 法 渡邊家泰
7	研究測定機器 竹林秀晃
8	定 期 試 験

履修の認定

筆記試験 100%

教科書

指定しない。毎回必要な資料を配付する。

專 門 分 野

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 作業療法セミナーⅡ (卒業研究計画)	1	3	前期	30	(医科学修士) 箭野 豊<本校講師> 作業療法士 作業療法学科本校講師全員

授業概要

作業療法研究法で学んだ知識をもとに卒業研究にむけた研究計画書を作成する。さらに発表を通じて、プレゼンテーション能力を含む基礎的技能を習得する。

学習目標

1. 研究計画書が作成できる。
2. プレゼンテーション能力を身につける。

授業計画

回	主 題
1	オリエンテーション
2	文献抄読について
3	研究計画書の概要①
4	研究計画書の概要②
5	研究計画書の作成①
6	研究計画書の作成②
7	研究計画書の作成③
8	研究デザイン作成①
9	研究デザイン作成②
10	研究デザイン発表①
11	研究デザイン発表②
12	研究デザイン発表③
13	研究デザイン発表④
14	研究デザイン発表⑤
15	研究デザイン発表⑥

履修の認定

研究デザイン発表、出席状況、受講態度、提出物（期日厳守）などを勘案して認定する。

ゼミ毎の出席状況、提出物も含む。

研究デザイン発表 60%、出席・提出物等のゼミ成績 40%で成績判定する。

教科書・筆記用具・ノートは必ず持参すること。

教科書

標準作業療法学 作業療法研究法 医学書院

参考書

すぐできる！リハビリテーション統計

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 作業療法セミナーⅢ (国家試験対策)	2	4	後期	60	作業療法学科本校講師

授業概要

国家試験対策のセミナーである。分野ごとに行なう学生間でのグループワークや、担当教員の講義・解説を行っていく。また10回程度の模擬試験を実施する。

学習目標

国家試験合格のための知識を整理し、修得する。

授業計画

日 程	主 題
10月	基礎医学分野のまとめ
11月	基礎医学分野のまとめ・専門分野のまとめ
12月	専門分野のまとめ・単位認定試験実施
1月	総まとめ
10月～2月	模擬試験

履修の認定

単位認定試験にて認定する。

教科書

各種国家試験問題解説集

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 作業療法研究法	1	3	前期	30	(医科学修士) 箭野 豊 <本校講師> 作業療法士 作業療法学科本校講師全員

授業概要

研究法の内容および研究のプロセスについての概要を理解する。また実際に、研究テーマの絞り込み、文献レビュー等を行っていく。具体的な研究計画を立てることができるように段階を追った計画の立て方を学習していく。またその計画を他者にわかりやすく報告する方法を学ぶ。

学習目標

1. 研究法の概要について説明できる。
2. 研究テーマの絞り込み、文献レビュー等を行える。
3. 研究テーマを見つけて計画を立てることができる。
4. 研究計画に沿って研究を実施することができる。

授業計画

回	主 題
1	研究とは何をするのか
2	分野別研究とその流れ
3	研究課題の見つけ方
4	研究命題の作り方
5	研究と倫理
6	研究の種類、研究デザイン <u>第7回目より卒論ゼミに移行する</u>
7	文献レビューと文献研究
8	〃
9	〃
10	研究テーマの発見
11	研究テーマの絞り込み
12	〃
13	〃
14	研究計画書の作成について
15	定期試験

履修の認定

定期試験、出席状況、受講態度、研究計画書の提出物（期日厳守）などを勘案して認定する。
ゼミ毎の出席状況、課題提出物も含む。
教科書・筆記用具・ノートは必ず持参すること。

教科書

標準作業療法学 作業療法研究法 医学書院

参考書

すぐできる！リハビリテーション統計

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 卒業研究	2	4	後期	60	作業療法学科本校講師

授業概要

研究の実施および論文作成・研究発表を経験する。

学習目標

1. 卒業研究論文を作成することができる。
2. 研究の成果について口述発表を行なうことができる。

授業計画

日程	主 題
～10月上旬	論文作成・発表準備
10月中旬	研究口述発表
10月末	論文提出

履修の認定

学習態度、研究論文および発表等を勘案して認定する。

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 臨床実習入門Ⅱ	2	3	後期	45	作業療法学科本校講師 ○実務経験者による授業科目

授業概要

これまで学習してきた基礎医学の知識・専門分野の知識や技術を総復習し、それらを症例を通して理解に活かし、統合していく。また、各疾患担当にて評価から全体像として統合解釈し、問題点の抽出、プラン作成から具体的プログラムの立案までをシュミレーションし、作業療法アプローチに関する知識や技術を習得する。

学習目標

1. 基礎医学・臨床医学の知識を振り返り、障害像と結び付けて考えることができる。
2. 各評価項目の目的や一般的手順を説明できる。
3. 一般的な評価技術について、その理論を説明でき、かつ正しく実施できる。
4. 評価項目の選定、統合と解釈、問題点の抽出、プランの作成、具体的プログラムの立案が出来る。さらに、症例に対する考察力を養い、他者と意見交換が出来る。

授業計画

回	主 題	回	主 題
1	基礎知識の確認 (稲富)	1 2	作業療法評価演習 (箭野)
2	〃 (〃)	1 3	〃 (〃)
3	〃 (〃)	1 4	〃 (〃)
4	〃 (〃)	1 5	作業療法実践過程演習 (片岡)
5	〃 (〃)	1 6	〃 (片岡)
6	〃 (〃)	1 7	〃 (福島)
7	〃 (〃)	1 8	〃 (福島)
8	作業療法評価演習 (箭野)	1 9	〃 (身障分野担当教員)
9	〃 (〃)	2 0	〃 (〃)
1 0	〃 (〃)	2 1	〃 (〃)
1 1	〃 (〃)	2 2	〃 (〃)
		2 3	定期試験

履修の認定

「基礎知識の確認」は定期試験 100%、「作業療法評価演習」は実技試験 80%と平常点（授業態度及び出席状況）20%、「作業療法実践過程演習」は平常点（出席状況・受講態度等）30%、提出物 70%にて評価する。それぞれの到達基準を満たすことで本科目を認定する。

教科書

1. 配布資料

参考書

1. 中枢神経疾患に対する作業療法 三輪書店
2. 脳卒中×臨床 OT 株式会社シービーアール
3. 動作分析 臨床活用講座 バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践 メジカルビュー社
4. ベッドサイドの神経の診かた 南山堂
5. PT・OTのためのOSCE 臨床力が身につく実践テキスト 金原出版株式会社
6. モーターコントロール 研究室から臨床実践へ 医歯薬出版株式会社
7. 標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 医学書院

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 作業療法部門管理論	1	3	後期	15	(医科学修士) 箭野 豊 <本校講師> 作業療法士 ○実務経験者による授業科目

授業概要

現代社会には、多様なニーズと多様なサービスが存在し、人々は自らの人生が豊かになることを望んでいる。授業では、作業療法対象者の人生を豊かにするために、個々の作業療法士が質の高い作業療法を提供する方法について管理学を通して学ぶ。また、社会保障制度変革をはじめとする社会情勢の変化や対象者のニーズや権利に対する意識の変化に伴い、人材育成、医療安全管理、経営管理などの必要性が高まり、これまで療法に専念していた作業療法士らも組織の管理運営に責任を負う時代になっていることから、作業療法の現場について学ぶ。

学習目標

1. 作業療法における管理学の位置づけ、組織マネジメント、医療安全、医療サービスについて説明できる。
2. 作業療法業務の実際について説明することができる。
3. 作業療法の職域や職業倫理、作業療法を取り巻く諸制度、作業療法臨床実習、作業療法士のキャリア開発等について説明できる。

授業計画

回	主 題
1	作業療法管理学とは
2	情報のマネジメント
3	作業療法と医療サービス
4	医療安全のマネジメント
5	作業療法業務のマネジメント(1) 人・物・経済性のマネジメント
6	作業療法業務のマネジメント(2) 情報・時間・ストレスのマネジメント
7	作業療法をとりまく諸制度／作業療法士のキャリア開発
8	定期試験

※前期科目 作業療法教育論と重複する内容は割愛する。

履修の認定

ノート作成と提出、定期試験、出席、学習態度、提出物、定期試験などを勘案し認定する。また、教科書・筆記用具・ノートは必ず持参すること。

教科書

大庭 潤平（編） 作業療法管理学入門 第2版 医歯薬出版株式会社

参考書

丸山仁司・堀本ゆかり（編）
リハビリテーション専門職のための教育学 現場で役立つ「教える技術」 医歯薬出版株式会社

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必)作業療法教育論	1	3	前期	15	(保健学修士)片岡 聡子<本校講師> 作業療法士

授業概要

作業療法における養成教育や臨床実習、卒後の生涯教育のシステムと目的等を通し、教育の概念と役割を学習する。作業療法士としての将来を見据え、学ぶ意味・姿勢、教える態度や方法論を学ぶ。また、作業療法の分野を超えて、社会的・倫理的問題にも触れ、自分自身の人間形成や人を育てることの楽しさを経験する。

学習目標

1. 教育とは何か、理解し説明できる。
2. 作業療法分野における教育システムを理解し説明できる。
3. 現在の教育について、議論ができる。

授業計画

回	主 題
1	教育とは
2	作業療法分野におけるシステム
3	〃
4	臨床実習について
5	人間形成とセルフマネジメント①
6	〃 ②
7	まとめ
8	課題発表

履修の認定 4

出席状況（10%）、授業態度・ディスカッションへの取り組み姿勢・課題発表・課題提出等（90%）を勘案し、評価する。

教科書

1. 作業療法管理学 入門 第2版 医歯薬出版株式会社
2. 配布資料

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必)身体障害作業療法学Ⅲ (神経筋疾患)	1	3	後期	30	(学術修士) 萩原 賢二 <本校講師> 作業療法士 ○実務経験者による授業科目

授業概要

臨床でよくみられ、国家試験にも頻出である神経・筋疾患に対する作業療法を習得する。各疾患の全体像の把握から評価の視点、具体的治療内容について講義、演習する。

学習目標

1. 各疾患の臨床像について説明できる。
2. 各疾患別の評価と作業療法について説明できる。
3. 各疾患についての国家試験レベルの問題を解くことができる。

授業計画

回	主 題
1	パーキンソン病の作業療法①
2	〃 ②
3	〃 ③
4	脊髄小脳変性症の作業療法①
5	〃 ②
6	多発性硬化症の作業療法①
7	〃 ②
8	ギランバレー症候群の作業療法①
9	〃 ②
10	重症筋無力症の作業療法
11	筋萎縮性側索硬化症の作業療法
12	筋ジストロフィーの作業療法①
13	〃 ②
14	まとめ
15	定期試験

履修の認定

出席状況、授業態度、小テスト、筆記試験など

教科書

1. 標準作業療法学 身体機能作業療法学 医学書院
2. 配布資料

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 身体障害作業療法学Ⅳ (脊髄損傷)	1	3	前期	30	(経営修士) 桂 雅俊 <本校講師> 作業療法士 ○実務経験者による授業科目

授業概要

本授業は、作業療法の対象となる疾患の1つである脊髄損傷について、疾患の特徴や各種評価の意義・目的を理解し、治療内容を含めて実践する能力を身につけられることを目的とする。また、国家試験にも頻回に出題される内容のため適宜、国家試験問題を取り入れつつ進める。

学習目標

1. 疾患の特性を理解し、必要な評価項目の列挙、実施ができる (ASIA、Frankel、Zancolli)。
2. 急性期におけるリスク管理について機序と対応について説明ができる。
3. 各残存機能レベルに合わせた ADL 項目について方法が説明できる。

授業計画

回	主 題
1	脊髄損傷の概要・特徴
2	神経症状 (排泄機能障害含む)
3	合併症、作業療法評価 (ASIA、Frankel、Zancolli)
4	臨床徴候による分類、代償動作
5	中間試験
6	起居・移乗・移動・床上動作
7	脊髄損傷者の臨床像 (模擬体験：実技)
8	食事関連
9	整容・更衣関連
10	排泄関連
11	入浴・住宅改修関連
12	環境制御装置、自動車運転関連
13	グループワーク (国家試験対策)
14	まとめ
15	定期試験

履修の認定

中間試験 (45%)、定期試験 (45%)、出席・学習態度 (10%) などを勘案し認定する。

なお、中間試験・定期試験ともにそれぞれ 6 割以上の点数を満たすことを単位認定の条件とする。

教科書

1. 標準作業療法学 身体機能作業療法学 医学書院
2. 標準作業療法学 作業療法評価学 医学書院
3. 福祉用具・住環境整備の作業療法 中央法規
4. PT・OT ビジュアルテキスト ADL 羊土社
5. 義肢装具学の配布資料

参考書

1. シンプル生理学 南江堂 (自律神経系障害・排泄機能の病態解釈で使用)
2. 脊髄損傷リハビリテーションマニュアル 医学書院
3. 動画で学ぶ脊髄損傷のリハビリテーション 医学書院

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必)身体障害作業療法演習 I	1	3	前期	15	(保健学修士) 片岡 聡子 <本校講師> 作業療法士

授業概要

身体障害に対する介入の基礎となる、正常動作分析を学び、徒手的な介入の基本から応用を
実践する。

学習目標

1. 人体の構造の正常なアライメントを知り、不良アライメントを治療できる。
2. 正常動作の知識を習得し、ハンドリングの基本を理解・実践できる。

授業計画

回	主 題
1	正常動作分析の意義
2	徒手的介入の基本原則
3	正常アライメントと徒手治療①
4	〃 ②
5	正常動作とハンドリング①
6	〃 ②
7	〃 ③
8	まとめと応用

履修の認定

実技習得状況 (80%) 受講態度・出席状況等 (20%) により認定する。

参考書

1. 臨床 OT ROM 治療 三輪書店
2. 配布資料

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 身体障害作業療法演習Ⅱ	1	3	後期	15	(医科学修士) 箭野 豊<本校講師> 作業療法士 ○実務経験者による授業科目

授業概要

高次脳機能障害に関する基礎的知識を再確認し、評価の視点から具体的な治療アプローチについて修得する。また、高次脳機能障害に対する接し方や姿勢・動作・活動分析の視点から ADL への介入も含め、人と環境の適応過程について、作業活動を治療手段として提供できる視点を学ぶ。

学習目標

1. 高次脳機能障害について説明できる。
2. 高次脳機能障害に対する具体的アプローチについて記述できる。
3. 高次脳機能障害に対する介入方法を説明できる。
4. 課題遂行機能について身体機能（運動学・解剖学・生理学）と神経学的解釈ができる。
5. 患者の病期にあわせた活動の分析と提示について説明できる。

授業計画

回	主 題
1	高次脳機能障害とは
2	高次脳機能障害に対する作業療法アプローチの概念
3	身体機能と高次脳機能障害について（姿勢と視空間について）
4	課題遂行のために必要な身体機能と神経学的解釈
5	病期の特徴と活動の分析①
6	病期の特徴と活動の分析②
7	病期の特徴と活動の分析③
8	演習

※授業の進行により主題内容が前後する場合がある

履修の認定

ノート提出や実技テスト、定期試験にて成績評価するが、出席数、持参物、学習態度、実技への取り組み等も含め、総合的に判断する。

教科書

1. 標準作業療法学 身体機能作業療法学 第3版
2. 標準作業療法学 作業療法評価学 第3版
3. 配布資料

参考書

1. 脳卒中最前線 医歯薬出版株式会社
2. 中枢神経系疾患に対する作業療法 三輪書店
3. 臨床 OT-ROM 治療 三輪書店
4. 環境適応 第2版 中枢神経系障害への治療的アプローチ 青海社

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 義肢装具学	1	3	前期	30	石井 誠二 <非常勤講師> 総合病院回生病院 作業療法士

授業概要

義肢・装具に関する基本的知識を学ぶとともに、その種類と構造、適応や適合判定について学ぶ。また、実際のスプリント作製実習を通し、道具の扱い方や材料の加工方法についても学ぶ。

学習目標

1. 装具（上肢，下肢，体幹，靴型）の適応について説明できる。
2. 義手や義足の種類と各部位の名称，その構造について説明できる。
3. 義肢・装具の適合判定を習得する。
4. スプリント作製実習により，装具の加工方法について学ぶ。

授業計画

回	主 題	
1	義肢装具学 概論	歴史と目的
2	〃	適応と治療・訓練
3	義肢装具学 各論	上肢装具，指用装具
4	〃	体幹装具，下肢装具，靴型装具
5	〃	義手の種類と適応（能動義手，筋電義手）
6	〃	上肢切断，義手の適合判定
7	〃	下肢切断，義足の種類と適応
8	〃	座位保持装置，車椅子，杖，その他
9	スプリント作製実習	Splintingに必要な機能解剖と運動力学
10	〃	スプリント作製における採型・採寸法と注意点
11	〃	手関節背屈保持装具の作製と適合判定
12	〃	短対立装具の作製と適合判定
13	疾患別装具療法・スプリント療法の実際	
14	〃	
15	定期試験	

履修の認定

筆記試験，出席状況，授業態度

教科書

1. 作業療法全書 第9巻 作業療法技術学1「義肢装具学」（協同医書出版）
2. その他，配布資料

参考書

- ・義肢学（医歯薬出版株式会社）
- ・装具学（医歯薬出版株式会社）
- ・義肢装具のチェックポイント（医学書院）

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 内部障害作業療法学	1	3	前期	30	吉本 雅生 <非常勤講師> いずみの病院 作業療法士 他

授業概要

呼吸に関する機能・解剖から呼吸の仕組みについて学習し、検査値などの医療現場での実践的な知識を獲得していく。また、呼吸介助やポジショニングを実技を含め学習していく。そして、がんの種類やがんのリハビリテーションに触れ、病態や症状に合わせた作業療法の展開について学習を深める。

高齢化が進んでいる現在、作業療法の対象者も高齢者が増してきている。高齢者の多くは不整脈を合併し、また既往歴に心筋梗塞や狭心症などの心疾患がある場合がある。作業療法士が作業療法を施行する際に出現する不整脈を判断することは、リスク管理の上で非常に重要である。

そして、心電図の基本から正常12誘導心電図の波形の成り立ち、そして臨床の場面で理解しておくべき、不整脈の波形について教授する。

学習目標

1. 呼吸に関する基礎知識を学ぶ。
2. 機能・解剖を知り呼吸の仕組みを知る。
3. 作業療法での呼吸療法の講義と、実技演習。
4. 喀痰吸引において清潔操作を守り、一連の手技の実技演習が行える。
5. 循環器疾患における、病態の理解と説明ができる。
6. がんの病態の理解と、がんのリハビリテーションについて学ぶ。
7. 临床上必要な不整脈の波形が判読できる。

授業計画

回	主 題
1	呼吸器の解剖生理
2	呼吸疾患別の病態理解
3	呼吸疾患におけるリハビリテーションについて
4	呼吸疾患のフィジカルアセスメント・画像診断・ADL 評価について
5	呼吸介助と体位ドレナージについて
6	喀痰・吸引 ①
7	喀痰・吸引 ②
8	がんの種類や病態について
9	がんのリハビリテーションについて
10	循環器疾患（心疾患・弁膜疾患・血管疾患）
11	心臓の解剖生理・正常心電図（心電図の波形と名称）
12	正常12誘導心電図（肢誘導・胸部誘導）
13	不整脈の心電図（頻脈・徐脈・期外収縮）
14	不整脈の心電図（房室ブロック・心室内伝導障害・心房細動など）
15	定 期 試 験

履修の認定

授業出席日数が2/3以上あることが定期試験の受験のための必須条件。筆記試験（100%）で判定。

注意事項

配布資料が多いため、紙ファイルを準備し、プリントの管理を行うこと。

参考書

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 心電図トレーニング | 小沢友紀雄 中外医学社 |
| 2. 呼吸リハビリテーション | 高橋仁美 宮川哲夫 塩谷隆信 中山書店 |
| 3. リハ実践テクニック呼吸ケア | 塩谷隆信 高橋仁美 メディカルビュー社 |
| 4. がんのリハビリテーション | 辻 哲也 医学書院 |

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 精神障害作業療法学Ⅱ (疾患別治療法)	1	3	前期	30	(医博) 畑田 早苗 <本校講師> 作業療法士 (学術修士) 萩原 賢二 <本校講師> 作業療法士 ○実務経験者による授業科目

授業概要

精神障害への理解を深め、治療過程による関わりを学習する。
精神科作業療法における知識、技能を学習する。
事例を通して精神障害者に対する作業療法アプローチの統合を図る。
脳機能と精神症状、身体症状の関連性を理解し実践する。

学習目標

1. 精神障害者に対する医学的知識の確認と復習を行い、各疾患に対する作業療法を理解し説明できる。また、個別性を重視した治療計画の立案をし、目的に合わせて段階付けを行うことができる。
2. 疾患別の作業療法を理解し説明できる。

授業計画

回	主 題
1	統合失調症の作業療法① 理解、評価
2	② プログラム立案
3	③ 発表
4	精神疾患の運動療法①
5	②
6	③
7	気分障害の作業療法
8	神経症性障害の作業療法
9	パーソナリティ障害の作業療法
10	摂食障害の作業療法
11	発達障害の作業療法
12	てんかんの作業療法
13	アルコール・薬物依存症の作業療法
14	まとめ (評価・観察・プログラム立案・情報収集)
15	定期試験

履修の認定

筆記試験、提出物、出席、授業態度

教科書

1. 精神障害と作業療法 新版 三輪書店
2. 作業療法マニュアルシリーズ31 精神障害：身体に働きかける作業療法 日本作業療法士協会

参考書

1. 生活を支援する 精神障害作業療法 急性期から地域実践まで 第2版 医歯薬出版
2. 作業療法学全書 第5巻 精神障害 協同医書出版
3. 統合失調症患者の行動特性 その支援とICF 金剛出版
4. 運動プログラム実践ガイドブック MEDICAL VIEW
5. 精神疾患の理解と精神科作業療法 第2版 中央法規

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 老年期障害作業療法学	1	3	前期	30	(学術修士)萩原 賢二<本校講師> 作業療法士

授業概要

高齢社会の我が国では、今後の増加が確実な認知症の予防とリハビリテーション、ケアが重要となってくる。本授業では、高齢者の特徴を理解し、評価からアプローチ方法について学ぶ。また、認知症の病理からアプローチまでの理解を深める。

学習目標

1. 高齢者の特徴について説明できる。
2. 高齢者に対する地域リハビリテーションの現状と作業療法士の展望について理解し、説明できる。
3. 認知症の行動特性について理解し、説明できる。
4. 認知症に対する作業療法の役割を理解し説明することが出来る。

授業計画

回	主 題
1	老化とは (加齢に伴う生理機能変化①)
2	〃 (加齢に伴う生理機能変化②)
3	〃 (加齢に伴う運動機能変化①)
4	〃 (加齢に伴う運動機能変化②)
5	高齢者に特徴的な症候と疾患①
6	〃 ②
7	老年期障害の作業療法 (評価)
8	〃 (治療)
9	認知症について① (基礎)
10	〃 ② (各症状別の理解1)
11	〃 ③ (各症状別の理解2)
12	認知症の作業療法
13	〃 (事例検討1)
14	〃 (事例検討2)
15	定期試験

履修の認定

筆記試験、出席状況、受講態度、各種レポート課題等を勘案して認定する

教科書

1. 標準理学療法学・作業療法学 老年学 医学書院
2. 標準作業療法学 作業療法評価学 医学書院
3. 授業内配布資料

参考書

1. 認知症の作業療法 エビデンスとナラティブに接点に向けて 医歯薬出版株式会社
2. 老年期の作業療法 三輪書店
3. 高齢者のための知的機能検査の手引き ワールドプランニング
4. その他適宜紹介する

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 精神障害作業療法演習 I	1	3	前期	15	(医博) 畑田 早苗<本校講師> 作業療法士 ○実務経験者による授業科目

授業概要

これまで学習してきた知識や技術を、症例を通して理解し、統合していく。また、各疾患担当にて評価から問題点の抽出、プラン作成から具体的プログラムの立案までをシミュレーションし、作業療法アプローチに関する知識や技術を統合する。

学習目標

1. 各評価項目の目的や一般の手順を説明できる。
2. 一般的な評価技術について、その理論を説明でき、かつ正しく実施できる。
3. 評価項目の選定、問題点の抽出、プランの作成、具体的プログラムの立案が出来る。さらに、症例に対する考察力を養い、他者と意見交換が出来る。

授業計画

回	主 題
1	精神科の評価とは 患者理解の追体験とは
2	症例を通しての評価と理解 (うつ病) 情報収集、追体験
3	評価、結果と統合 (ICF)
4	治療目標、治療プラン
5	治療プログラム
6	まとめ
7	評価演習① MTDLP に沿って
8	〃 ② プログラム立案
9	定期試験

履修の認定

実技試験、口頭試問、定期テスト、出席状況、受講態度および提出物などを勘案して認定する。

教科書

1. 精神障害と作業療法 病いを生きる 病いと生きる 精神認知系作業療法の理論と実践 新版 三輪書店
2. 精神障害：身体に働きかける作業療法アプローチ 31 日本作業療法士協会

参考書

1. 統合失調症患者の行動特性 その支援と ICF
2. 生活を支援する 精神障害作業療法 急性期から地域実践まで 医歯薬出版
3. 配布資料

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 精神障害作業療法演習Ⅱ	1	3	後期	15	(医博) 畑田 早苗<本校講師> 作業療法士 ○実務経験者による授業科目

授業概要

精神科作業療法の集団活動における治療構造の組み立てから評価までを学ぶ。

学習目標

1. 集団作業療法における治療構造の組み立てができる。
2. 集団作業療法の計画立案、実施ができる。
3. 集団の評価ができる。

授業計画

回	主 題
1	作業療法と集団の特性、治療としての集団とは
2	集団力動、集団の成立過程
3	集団の治療構造、パラレル
4	集団の企画・立案・運営の仕方、評価の実際
5	コラージュ 理論と実践
6	サイコドラマの理論
7	音楽療法の理論
8	グループワーク
9	定期試験

履修の認定

定期試験、レポート、出席、授業への取り組みの姿勢

教科書

- | | |
|--------------------------------|------|
| 1. ひとと集団・場 ーひとの集まりと場を利用するー | 三輪書店 |
| 2. 精神障害と作業療法 新版 | 三輪書店 |
| 3. レクリエーション 社会参加を促す治療的レクリエーション | 三輪書店 |
| 4. 配布資料 | |

参考書

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. 精神科作業療法の手引き | 牧野出版 |
| 2. 小集団体験 | 牧野出版 |
| 3. グループサイコセラピー | 金剛出版 |
| 4. 音楽療法の手引き | 牧野出版 |
| 5. 音楽療法の実際 | 牧野出版 |
| 6. 心理劇の実際 | 金剛出版 |
| 7. わかりやすい生活技能訓練 | 東大生活技能研究会 |
| 8. SST の進歩 | SS 普及協会 |

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 精神障害作業療法演習Ⅲ	1	3	後期	15	(医博) 畑田 早苗<本校講師> 作業療法士 ○実務経験者による授業科目

授業概要

集団作業療法について学び実体験する

学習目標

1. 集団精神療法を学び、実践することで実際の作業療法場面で活用できる
2. 音楽療法を企画立案することで、現場で実践することができる
3. その他芸術療法を実践することで、現場の作業療法場面で活かすことができる

授業計画

回	主 題
1	ヨガ療法理論と実践
2	詩歌療法 理論と実践
3	サイコドラマ実践 (ロールプレイ中心に)
4	サイコドラマ実践 (プレイバックシアター)
5	詩歌療法理論と実践
6	音楽療法 実践
7	音楽療法 計画立案①
8	計画立案②
9	定期試験

履修の認定

定期試験、レポート、出席、授業への取り組みの姿勢

教科書

- | | |
|----------------------------------|------|
| 1. ひとと集団・場 治療や援助、支援における場と集団のちがい方 | 三輪書店 |
| 2. 精神障害と作業療法 新版 | 三輪書店 |
| 3. レクリエーション 社会参加を促す治療的レクリエーション | 三輪書店 |
| 4. 配布資料 | |

参考書

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. 精神科作業療法の手引き | 牧野出版 |
| 2. 小集団体験 | 牧野出版 |
| 3. グループサイコセラピー | 金剛出版 |
| 4. 音楽療法の手引き | 牧野出版 |
| 5. 音楽療法の実際 | 牧野出版 |
| 6. 心理劇の実際 | 金剛出版 |
| 7. わかりやすい生活技能訓練 | 東大生活技能研究会 |
| 8. SST の進歩 | SS 普及協会 |

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 作業療法特論 (トピックス)	1	3	後期	30	佐藤 孝臣<非常勤講師> 株式会社ライフリー 作業療法士 他

授業概要

作業療法士として、医療現場に必要な最新の知識について学ぶ。また、将来、作業療法士として探究心を持ち続け、自身の歩みを形にしていけるよう研鑽する。

学習目標

1. 作業療法の近年の取り組みについて列挙出来る。
2. 作業療法士としての自身の展望を述べる事が出来る。

授業計画

回	主 題
1	介護予防・自立支援 (佐藤孝臣)
2	〃
3	〃
4	児童デイケアの実際 (河本聡志)
5	
6	医療観察法と作業療法 (鶴見隆彦)
7	〃
8	起業の実際と運営について (二神雅一)
9	〃
10	日本作業療法士協会の動向 (二神雅一)
11	〃
12	臨床研究について (宮口英樹)
13	〃
14	〃
15	〃

履修の認定

出席状況・受講態度および各種レポート課題等を総合的に勘案して認定する。

教科書

配布資料

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 治療学セミナー	1	3	前期	30	山本 伸一<非常勤講師> 日本作業療法士協会 他

授業概要

これまで学習してきた知識や技術を、症例を通して自ら統合していくトレーニングを行う。
臨床現場で活躍中の作業療法士を講師として招き、実在のケースを提示してケーススタディを行う。また、疾患別担当制としてペーパークライアントを提示し、討議を重ね評価から問題点の抽出、プランの作成から具体的プログラムの立案までをシュミレーションする。

学習目標

1. 作業療法実践者（講師）の知識や技術、症例を通じた思考過程を、理解することができる。
2. 各分野の作業療法について、それぞれの理論に基づいた治療実践を模倣し、自らの意見を述べる事が出来る。

授業計画

回	主 題	
1	身体障害作業療法の実際	山本伸一
2	〃	
3	〃	
4	整形疾患の作業療法	仲川健
5	〃	
6	認知神経リハビリテーションとは	沖田かおる
7	〃	
8	発達障害の地域での実践	河本聡志
9	〃	
10	〃	
11	〃	
12	急性期の作業療法	吉村大輔
13	〃	
14	心理教育の実際	柏原謙造
15	〃	

履修の認定

出席状況、授業態度、各種課題レポートや発表等を総合的に勘案し認定する。

教科書

指定しない。（各担当者の指示に従う）

授 業 科 目	単 位 数	年 次	学 期	時 間 数	担 当 教 員
(必) 地域作業療法学 I	1	3	前期	30	(経営修士) 桂 雅俊<本校講師> 作業療法士 (医博) 稲富 惇一<本校講師> 作業療法士 (生活科学修士) 川渕 忠義<非常勤講師> 近森病院 作業療法士 細川 忠<非常勤講師> 株式会社 ライフチェンジ ○実務経験者による授業科目

授業概要

本授業は、地域におけるリハビリテーション・作業療法について、社会保障制度（主に、医療保険・介護保険）の推移を踏まえつつ、地域包括ケアシステム・介護予防・総合事業・自立支援をキーワードに講義を行っていく。また、地域課題の発見・解決に向けてグループワークを通じた実践型の内容を取り入れていく。

学習目標

1. 社会保障制度（主に、医療保険・介護保険）について内容を説明できる。
2. 地域における作業療法の在り方について自分の考えをもち言葉で説明することができる。
3. 一般住民や他職種の方々とコミュニケーションを図り、地域課題の解決に取り組むことができる。

授業計画

回	主 題	
1	地域リハビリテーションと地域作業療法	(桂 雅俊)
2	社会保障制度（医療保険・介護保険について）	〃
3	地域包括ケアシステムと地域づくり	〃
4	自立支援と介護保険からの卒業	〃
5	地域課題の発見・解決①	(桂 雅俊、稲富 惇一)
6	地域課題の発見・解決②	〃
7	地域課題の発見・解決③	〃
8	地域課題の発見・解決④	〃
9	地域課題の発見・解決⑤	〃
10	地域課題の発見・解決⑥	〃
11	身障デイサービスと訪問看護ステーションにおける作業療法士の役割	(細川 忠)
12	〃	〃
13	精神科作業療法における地域支援：精神科デイケアについて	(川渕 忠義)
14	〃	〃
15	定期試験	

履修の認定

定期試験（60%）、グループワークへの参加及び実践内容（10%）、レポート（20%）、出席・学習態度など（10%）を勘案し認定する。

教科書

1. 標準作業療法学 地域作業療法学 医学書院
2. 標準作業療法学 作業療法評価学 医学書院
3. 作業療法マニュアル 75 生活行為向上マネジメント 日本作業療法士協会

参考書

特に指定しない。実践形式のグループワークでは、学外施設での資料収集や閲覧を行っていく。

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 地域作業療法学Ⅱ	1	3	後期	30	(医博) 稲富 惇一<本校講師> 作業療法士 宮崎 宏興<非常勤講師> いねいぶる 作業療法士 他

授業概要

地域作業療法学Ⅰで学んだ知識をもとに、実場面での地域リハビリテーションや地域作業療法における評価・治療・援助の実践過程について学ぶ。

学習目標

1. 在宅生活者に対する地域援助技術について説明できる。
2. ケアマネジメント・ケアアセスメント・ケアプランを説明できる。
3. 訪問・通所リハビリテーションにおける作業療法士の役割や展開を説明できる。
4. 包括的地域支援を説明できる。
5. コミュニティの中での作業療法士の役割を説明できる。

授業計画

回	主 題
1	地域住民に対する作業療法の展開 (稲富 惇一)
2	〃
3	〃
4	障害者福祉を中心とした作業療法士の町づくりの実践 (宮崎 宏興)
5	〃
6	産業作業療法について (元廣 惇)
7	〃
8	福祉保健所での作業療法士の役割と実践 (公文 一也)
9	〃
10	地域で関わる小児作業療法 (大熊 将平)
11	〃
12	医療現場で求められる作業療法士 (宮本 寛)
13	〃
14	身体障害領域の訪問リハビリテーション (近藤 剛行)
15	〃

履修の認定

出席状況 (15%)、授業態度 (5%)、レポート (60%)、グループ発表 (20%) とする。

※非常勤講師の授業を欠席した場合、出席点だけでなくレポートの点数も減点になることがある。

教科書

1. 配布資料

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 職業前関連活動	1	3	後期	15	(経営修士) 桂 雅俊 <本校講師> 作業療法士 (医科学修士) 岡村 忠弘<非常勤講師> 脳損傷友の会高知青い空 作業療法士 中越 太一<非常勤講師> ファミリーユ高知 作業療法士 他 ○実務経験者による授業科目

授業概要

本授業では、職業リハビリテーションに取り組むにあたり、就労に向けての作業療法士の役割及び制度や法律について学ぶ。また、非常勤講師の方々からは就労状況の実際、各施設の役割、現場における評価及び介入についてケースの紹介を交えながら理解できるように講義をすすめる。

学習目標

1. 人にとっての職業の意味や、就労に関わる作業療法(士)の役割について説明することができる。
2. 日々の生活技術や職務の遂行に必要な活動、求職のための活動方法を理解することができる。
3. 法制度や事業を知り、これが職業前関連活動にどう結びつくかについて、理解し説明することができる。

授業計画

回	主 題	
1	職業リハビリテーション活動の概念、就労制度、雇用形態	(桂 雅俊)
2	就労支援における作業療法評価・実践、障害者総合支援法	"
3	ハローワーク、障害者職業センターの役割	
4	高次脳機能障害者の就労支援①	(岡村 忠弘)
5	高次脳機能障害者の就労支援②	"
6	精神障害者の就労支援①	(中越 太一)
7	精神障害者の就労支援②	"
8	定期試験	

※非常勤講師の日程調整に応じて授業内容が前後することがある。

履修の認定

定期試験 (70%)、レポート (20%)、出席・学習態度など (10%) を勘案し認定する。

教科書

1. 標準作業療法学 地域作業療法学 医学書院
2. 標準作業療法学 作業療法評価学 医学書院
3. 作業療法管理学入門 医歯薬出版

参考書

1. 作業療法学全書 作業療法技術学 4 職業関連活動 協同医書出版社

授業科目	単位数	年次	学期	時間数	担当教員
(必) 地域生活環境論	1	3	前期	30	(医博) 稲富 惇一<本校講師> 作業療法士 (経営修士) 桂 雅俊<本校講師> 作業療法士

授業概要

障害者・高齢者の生活支援のための福祉用具の選択と使用、および生活環境の調整についての基本的知識と技術を講義・演習・実技を通じて習得する。

学習目標

1. 福祉用具の名称が列挙できるとともに、その基本的使用方法を説明できる。
2. 各種福祉用具導入の際の作業療法士の役割を説明できる。
3. 主要な障害における住環境整備の概略を説明できる。
4. 疾患の特性や障害のレベルに応じた自助具を考案し、制作することができる。

授業計画

回	主 題	
1	福祉用具総論	
2	高齢者を取り巻く社会状況と住環境	
3	〃	
4	障害者を取り巻く社会状況と住環境	
5	〃	
6	高齢者・障害者の心身の特性	
7	疾患別にみた住環境整備の考え方	脊髄損傷 他
8	〃	脳血管障害 他
9	〃	廃用症候群 他
10	〃	内部疾患 他
11	福祉住環境整備の基本技術	
12	生活行為別住環境整備の手法	
13	〃	
14	在宅生活における福祉用具・自助具の活用	
15	〃	

履修の認定

授業態度 (10%)、筆記試験 (90%) とする。

教科書

1. 住環境コーディネーター2級テキスト 東京商工会議所
2. 福祉住環境コーディネーター2級 重要過去問&予想模試 ユーキャン

参考書

1. 住環境コーディネーター2級検定試験 過去5回問題集
2. 住環境コーディネーター2級完成問題集
3. 中枢神経系疾患に対する作業療法 (手技から福祉用具・住環境まで) 三輪書店

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 見学実習Ⅱ	1	3	後期	45	3年担任： (医学博士) 稲富 惇一<本校講師> 作業療法士

授業概要

見学実習Ⅱでは、地域社会への関心を高め、広く見聞を広げる目的で、医療提供施設以外の介護・福祉施設を見学する。これらを通して、作業療法士の職業イメージを拡充し、職域の拡大や、より発展的な作業療法の提供の仕方を模索する機会とし、今後身につけるべき知識・教養・情報は何かを検討する。

1. 地域社会での各施設の役割やそこでの作業療法士の役割を説明できる。
2. 医療人として適切な態度・礼節を実践し、対象者や多職種と望ましい関係を構築できる。
3. 見学したことを書面や口頭で報告することが出来る。

授業計画

分 野	時 期
介護保険施設，老人福祉施設，身体障害者福祉施設，児童福祉施設，等	12月を予定

履修の認定

取り組み姿勢，提出物，報告書等の状況，出席状況などを総合的に勘案して認定

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 見学実習Ⅲ (訪問・通所リハ)	1	4	前期	45	4年担任： (学術修士) 萩原 賢二<本校講師> 作業療法士

授業概要

見学実習Ⅲでは、地域社会への関心を高め、広く見聞を広げる目的で、通所リハビリテーションおよび訪問リハビリテーションを見学する。これらを通して、対象者の地域生活を理解し、その中での課題を発見し、作業療法士の具体的支援の方法を学ぶ。

1. 地域社会での各施設の役割やそこでの作業療法士の役割を説明できる。
2. 地域で生活する対象者が抱える課題について理解し、説明できる。
2. 医療人として適切な態度・礼節を実践し、対象者や多職種と望ましい関係を構築できる。
3. 見学したことを書面や口頭で報告することが出来る。

授業計画

分 野	時 期
通所リハビリテーションおよび 訪問リハビリ事業所等	8月を予定

履修の認定

取り組み姿勢、提出物、報告書等の状況、出席状況などを総合的に勘案して認定

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必)臨床総合実習 I	8	3	後期	360	3年担任： (医学博士) 稲富 淳一 <本校講師> 作業療法士

授業概要

2年次までに修得した評価技法を用いて、対象者の全体像の把握が出来ることを基礎とし、治療プログラムの立案、実践を試み、対象者との治療関係を構築するとともに、対象者のニーズに結びつけた援助をする能力を培う。

また、多くの対象者に接することで体験を積むと同時に、学生自身の自分への気づきや、セラピストとしての洞察力・考察力を高めることを目標に実施する。

学習目標

2年次までに受けた全ての教育を自己の内に統合し、作業療法士として社会に踏み出す準備をするために、教育的配慮がなされた環境、すなわち臨床実習指導者の下、対象者に必要な評価技法を実践することで作業療法の重要性を認識し、説明することができる。

また、評価を実施するのに相応しい態度と技術、臨床家としてのマナーを修得し、臨床の場で用いることができる。

授業計画

分 野	期 間
身体障害・精神障害・発達障害 老年期障害・福祉施設のうち1施設	令和8年1月12日(月)～3月7日(土)

履修の認定

臨床実習指導者による評価(60%)、提出物・症例報告会に向けての取り組み状況・症例報告会発表内容、聴講態度等(40%)により評価し、認定する。

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必)臨床総合実習Ⅱ	10	4	前期	450	4年担任： (学術修士)萩原 賢二<本校講師> 作業療法士

授業概要

3年次までに修得した知識と技術を臨床場面で総合的に結び付け、作業療法士としての専門性を生かした治療プログラムの立案、実施ができる基礎能力を身につけます。また、実習指導者への報告、相談はもとより、ケースを通して他職種への報告。相談など臨床の場で必要な連携を学ぶと同時に、セラピストとして求められる創造性や探究心を培うことを目標にします。

学習目標

3年次までの全ての学習を統合して、実習指導者の指導を受けながら、一人のセラピストとして、評価、治療を実施することが出来る。また、必要に応じて、関連職種と情報交換ができ、連携をはかることが出来る。探究心や創造性を持って対象者に携わることが出来る。

授業計画

分 野	期 間
身体障害・精神障害・発達障害 老年期障害・福祉施設等のうち1施設	令和7年5月12日(月)～7月19日(土)

履修の認定

臨床実習指導者による評価(60%)、提出物・症例報告会に向けての取り組み状況・症例報告会発表内容、聴講態度等(40%)により評価し、認定する。